

岡三証券グループの価値創造プロセス

1. 価値観

1.1. 企業理念と経営のビジョン

- ✓ 経営哲学：お客さま大事
- ✓ 存在意義：証券のプロフェッショナルとして、最適な資産運用サービスを提供し、お客さまの資産形成に貢献する

1.2. 社会との接点

- ✓ 超低金利を背景とした中長期的な資産運用ニーズの高まり

2. ビジネスモデル

2.1. 市場勢力図における位置づけ

2.1.1. 付加価値連鎖（バリューチェーン）における位置づけ

- ✓ 資産運用手段の提供者としての役割（岡三証券）
- ✓ インベストメントチェーンに不可欠な資本市場の担い手（岡三証券）
- ✓ 資産運用を提供するアセットマネージャー（岡三アセットマネジメント）

2.1.2. 差別化要素及びその持続性

- ✓ 高齢社会に不可欠な対面によるお客さまサポートが主軸
- ✓ 若年層をターゲットとしたネット証券の存在
- ✓ 安定収益を生む資産運用会社をグループ内に擁する
- ✓ 創業家の存在

2.2. 競争優位を確保するために不可欠な要素

2.2.1. 競争優位の源泉となる経営資源・無形資産

- ✓ 全国に展開する店舗網と資産運用ニーズのあるお客さま
- ✓ お客さまと強固なリレーションを築く営業社員

2.2.2. 競争優位を支えるステークホルダーとの関係

- ✓ お客さまとの継続的な信頼・取引関係
- ✓ 独立系証券であるがゆえ、特定金融機関に属さない全方位の法人取引

2.2.3. 収益構造・牽引要素（ドライバー）

- ✓ 株式と債券、投資信託の3本柱による収益基盤
- ✓ グローバルな超低金利や老後2,000万円問題、コロナ禍の在宅勤務を背景に、国内および米国株式の取り扱いが好調

3. 持続可能性・成長性

3.1. ESGに対する認識

- ✓ E) グリーンボンドの引受・販売、環境省のグリーンボンド発行促進プラットフォームへの登録、パンフ等の環境配慮型製品の使用、ペーパーレス化推進、トキの野生復帰支援、地域清掃活動

- ✓ S)世界銀行等のソーシャルボンドの販売、地域応援ファンドの信託報酬寄附、株主優待品のNPO 法人への寄附、デジタルドームシアターでの小学生向け学習上映、子供向け職業体験イベントの実施、貧困国へのワクチン支援、地域清掃活動
- ✓ G)取締役 9 人のうち 3 人が社外、ALM を鑑みた資金調達、金融機関としての高度なリスクマネジメント

3.2. 主要なステークホルダーとの関係性の維持

- ✓ お客さま大事の経営哲学に基づく顧客第一主義の実践

3.3. 事業環境の変化リスク

3.3.1. 技術変化の早さとその影響

- ✓ AI や RPA 等のテクノロジーを駆使するフィンテックベンチャーの登場

3.3.2. カントリーリスク

- ✓ 人口減少、人生 100 年時代の到来、都市部への人口集中

3.3.3. クロスボーダーリスク

- ✓ 外国証券投資に係る米国証券税制 (QI、FATCA)
- ✓ 香港現地法人におけるレギュレーション、香港情勢

4. 戦略

4.1. バリューチェーンにおける影響力強化、事業ポジションの改善

- ✓ お客さまニーズに合わせた営業体制の再構築 (カンパニー制、サテライトオフィス等の店舗戦略、CX による評価体系)

4.2. 経営資源・無形資産等の確保・強化

4.2.1. 人的資本への投資

- ✓ 階層別の研修
- ✓ 外部研修機関への派遣
- ✓ 働きやすい環境づくり (在宅勤務、タブレット配布)

4.2.2. 技術 (知的資本) への投資

- ✓ IT・ソフトウェア投資 (データ解析ツールやタブレット等の営業端末)
- ✓ デジタルイノベーション推進部の設置

4.2.3. ブランド・顧客基盤構築

- ✓ 大手証券や銀行系、ネット系とは異なる対面中心のブランド
- ✓ 地上波における積極的な CM 放映、オンラインチャネルの知名度向上

4.2.4. 企業内外の組織づくり

4.2.5. 成長加速の時間を短縮する方策

4.3. ESG・グローバルな社会課題 (SDGs 等) の戦略への取り込み

- ✓ 「3.1.ESG に対する認識」参照

4.4. 経営資源・資本配分 (キャピタルアロケーション) 戦略

4.4.1. 事業売却・撤退戦略を含む事業ポートフォリオマネジメント

- ✓ (空欄)

4.4.2. 無形資産の測定と投資戦略の評価・モニタリング

- ✓ トレーディング部門を中心としたポジション枠、資金枠の設定

5. 成果と重要な指標（KPI）

5.1. 財務パフォーマンス

5.1.1. 財政状態及び経営成績の分析（MD&A 等）

- ✓ 有価証券報告書にて開示
- ✓ 資金調達面では、資金流動性を確保すべく無担保資金を中心に調達するとともに、インターバンク市場を通じて極めて低利なコールマネーを調達

5.1.2. 経済的価値・株主価値の創出状況

- ✓ （空欄）

5.2. 戦略の進捗を示す独自 KPI の設定

- ✓ 2023 年 4 月に創業 100 周年を迎えるに当たり、持続的成長を実現する礎を構築
- ✓ ROE10%、100 万口座、預り資産 10 兆円

5.3. 企業価値創造と独自 KPI の接続による価値創造設計

- ✓ （空欄）

5.4. 資本コストに対する認識

- ✓ 政策保有株式等の保有基準において資本コストを算出

5.5. 企業価値創造の達成度評価

- ✓ （空欄）

6. ガバナンス

6.1. 経営課題解決にふさわしい取締役会の持続性

- ✓ 創業家の会長が長期的な視点で経営に関与

6.2. 社長、経営陣のスキルおよび多様性

- ✓ 社内各部門や主要グループ会社のトップで構成

6.3. 社外役員のスキルおよび多様性

- ✓ 元財務官僚（弁護士）、経営管理に専門性を持つ大学教授、企業経営者

6.4. 戦略的意思決定の監督・評価

- ✓ 3 名の社外取締役による監督。またグループ内部監査部が定期的に監査

6.5. 利益分配の方針

- ✓ 経営体質の強化及び今後の事業展開に備え、内部留保の充実に努めるとともに安定的な配当の維持・継続を勘案しつつ、業績の進展に応じた配分を基本方針とする

6.6. 役員報酬制度の設計と結果

- ✓ 業績連動報酬やストックオプション制度を導入

6.7. 取締役会の実効性評価のプロセスと経営課題

- ✓ 取締役の自己評価を参考にしつつ実効性を分析・評価し、結果を開示している